

### 3 産学官金等の協働の推進

**( 基本的な考え方 )**  
 地域が一体となって、技術シーズの開発から事業化・実用化まで一貫した研究開発推進体制の整備を進めるため、産学官金等の協働を推進します。

**【令和2年度の主な取組状況】**

**<「イノベーション・エコシステム」の形成>**

- ・道と北大による「地域イノベーション・エコシステム形成プログラム」(文部科学省)の実施 (R元~R3)  
 研究テーマ～ 北大のスペクトル計測技術による「革新的リモートセンシング事業」の創成
- ・経産省の令和2年度産学融合拠点創出事業(産学融合先導モデル拠点創出プログラム)にノーステック財団(代表幹事機関)が提案した「チャレンジフィールド北海道」が採択(9月)され、道内8つの大学等を中心に産学官金の25機関が参画したオール北海道で、産学融合の研究開発・事業創出の取組を推進(再掲)

**<関係機関の連携の強化>**

- ・全道産学官ネットワーク推進協議会の開催(11月)(再掲)
- ・「北のものづくりネットワーク」による連携・支援
- ・室工大をはじめとした道内のものづくり系大学・高専などによる「地(知)の拠点大学による地方創生推進事業(COC+)」を継承し、産学官金で連携・協力し『北海道若者活躍プロジェクト』の立ち上げと推進(R2~)

**<「共創の場」の創出>**

- ・北海道オープンイノベーションシンポジウムの開催(11月)(再掲)
- ・産学官連携支援協議会(事務局:北海道中小企業家同友会)によるセミナー等の実施

**<産学官金等の研究会の開催やワンストップ相談窓口の活用>**

- ・帯畜大、帯広信金及びとかち財団の3者で「ものづくりワンストップ相談会」を実施
- ・R&Bパーク札幌大通サテライト(HiNT)の運営参画
- ・中小企業支援のための「産学官連携コーディネータ勉強会」の開催(11月)[北大リサーチ&ビジネスパーク推進協議会]

<b>&lt;指標&gt;</b>		
・道内大学等における共同研究の件数(再掲)	R元	R2
H28 1,308件 → R4 1,430件	1,551件	1,508件

## 4 知的財産の創造、保護及び活用

### （基本的な考え方）

グローバル化のさらなる進展や国際競争の激化、ICTの急激な進化などを踏まえ、「北海道知的財産戦略本部」を核として関係機関が連携しながら、知的財産の創造、保護及び活用を戦略的に推進し、道内企業等の競争力を強化していきます。

### 【令和2年度の主な取組状況】

#### <知的財産の普及と企業の人材育成の支援>

- ・農林水産分野における知的財産の普及啓発に係るセミナーの開催 [新型コロナウイルス感染拡大のため中止]

#### <知的財産の活用促進による中小企業の競争力強化>

- ・北海道知的所有権センターに配置した特許流通サポーターによる開放特許等の活用支援  
 来訪指導 348名 (R元:318名)  
 企業訪問等 225件 (R元:467件)  
 特許流通等成約 4件 (R元: 2件)
- ・日本弁理士会北海道会と連携した知財マネジメント普及モデル事業の実施 4件

#### <知的財産に関する相談機能の充実・強化>

- ・北海道知的所有権センターに配置した特許流通サポーターによる開放特許等の活用支援(再掲)
- ・本道の知的財産関係機関が連携した北海道知的財産情報センターサテライトにおける専門家による相談対応  
 8地域(札幌(大通地区)、函館、帯広、北見、旭川、釧路、苫小牧、室蘭)で実施

#### <ブランド化の促進>

- ・道有商標による北海道ブランドの推進・保護 18件
- ・道内製品のブランド化に結びつく地域団体商標への登録 36件

#### <知的財産の保護>

- ・冒認出願対策支援情報ガイドや冒認出願対策マニュアルの提供
- ・道有商標による北海道ブランドの推進・保護 18件(再掲)

#### <第4次産業革命の進展に対応した知的財産の推進>

- ・北海道知的財産情報センターにおける専門家による相談対応

<指標> ・特許流通サポーターによる特許流通相談件数 H28 725件 → R4 755件	R元 785件	R2 573件
・道内大学等における特許等の実施許諾数(譲渡含む) H28 686件 → R4 880件	H30 945件	R元* 1,273件

※ 道内大学等における特許等の実施許諾数の R2 実績は R4.1 頃発表予定

## 5 科学技術を支える人材の育成・確保及び科学技術コミュニケーション活動の促進

### (1) 科学技術を支える人材の育成・確保

#### ( 基本的な考え方 )

科学技術の振興を通じて道民生活の向上や本道経済の活性化を推進していくためには、科学技術を支える優れた人材を育成・確保していくことが不可欠であり、独創的な知識や技術を持つ研究者や技術者、科学技術に関する種々の専門的知見を有する人材、次世代の科学技術を担う無限の可能性を秘めている子供たちなど、本道はもとより、国内外で活躍する人材の育成・確保に努めます。

#### 【令和2年度の主な取組状況】

##### <研究者の資質向上と確保>

- ・研究職員の大学、公設試験研究機関への派遣(再掲)

##### <研究と法律・経営等の両方に精通した専門人材の育成・確保>

- ・北大 URA ステーションにおける URA (リサーチ・アドミニストレーター) の配置

##### <女性研究者や若手研究者が研究しやすい環境づくり>

- ・北大女性研究者支援室における産休・育休期間中の研究補助人材支援
- ・北海道科学技術奨励賞による若手研究者の表彰

##### <次世代の科学技術を担う人材の育成>

- ・サイエンスカーを活用した移動理科教室の開催  
体験児童・生徒 733 名 (R 元 : 2,026 名)
- ・道立教育研究所附属理科教育センターによる教職員指導研修  
8 講座・44 名 (一部、紙上型研修あり) (R 元 : 15 講座・242 名)
- ・外部人材を活用した理科教育の充実  
理科観察実験支援事業 2 市町・70 校 (R 元 : 2 市町・70 校)
- ・道立高等技術専門学院によるものづくり教育の推進  
小中学生を対象にしたものづくり体験会 1 回・23 名 (R 元 : 7 回・417 名)
- ・道と道内 4 高専との包括連携協定に基づく取組  
アイデア対決・全国高等専門学校ロボットコンテスト2020 (オンライン開催)  
北海道地区大会への協力
- ・理科・数学に重点を置いたカリキュラムや大学等との連携による教育の実施  
スーパーサイエンスハイスクールへの学校指定 7 校
- ・専修学校による職業体験の推進  
修学旅行や研修旅行などの機会を活用した中学生への職業体験講座の実施  
311 講座・3,409 名 (R 元 : 322 講座・3,122 名)
- ・HOKKAIDO サイエンスフェスティバルの開催  
新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、オンデマンドで実施

<起業家マインドを持った人材の育成と道内大学等卒業者の道内就職率の向上>

- ・室工大をはじめとした道内のものづくり系大学・高専などによる「地（知）の拠点大学による地方創生推進事業（COC+）」を継承し、産学官金で連携・協力し『北海道若者活躍プロジェクト』の立ち上げと推進（R2～）（再掲）
- ・次世代自動車関連ものづくり産業の振興  
ものづくり現場見学会 3回、出前事業 2回
- ・人材の誘致促進  
インターネットシステムへの登録（求人企業：247社、求職者：137人）、大学U・Iターン就職相談会参加：首都圏：17大学（相談71人）、関西圏5大学（相談9人）、東北圏1大学（相談1人）

(2) 科学技術コミュニケーション活動の促進

( 基本的な考え方 )

道民が科学技術を身近に感じることを通じて、科学技術に対する理解と信頼を得ながら、科学技術リテラシーの向上が図られるよう、科学技術に触れ、親しむことができる様々な機会を創出し、道民と科学技術に携わる者とのコミュニケーションを促進します。

【令和2年度の主な取組状況】

<科学技術に触れ、親しむことができる機会の創出>

- ・オンライン形式による科学イベント「サイエンスパーク・ファン」の開催  
出展：31機関、参加11,000アクセス
- ・道立教育研究所附属理科教育センターによる各種教室の開催  
親と子の理科教室参加者 【中止】（R元：92組・186名）  
中学生の科学実験教室参加者【中止】（R元：20名）

<青少年の創造性や科学する心を育む取組の支援>

- ・優れた発明や作品への北海道知事賞の授与等  
青少年科学技術振興作品展 1名  
日本学生科学賞 1校

<優れた研究開発等の表彰>

- ・北海道科学技術賞の贈呈 3名
- ・北海道科学技術奨励賞の贈呈 5名
- ・新技術・新製品開発賞の贈呈 10社
- ・北海道地方発明表彰 1組

<指標>		
・道内大学卒業生等の道内就職率（理工系学部）	H30	R2
H28 42.6% → R4 51.0%	39.2%	41.2%
・「サイエンスパーク」参加児童生徒数	H30（単年度）	R2（単年度）
6,200名（延べ） → 7,000名（延べ） （H25～H29） → （H30～R4）	1,400名	11,000アクセス

※R2はオンライン開催のため、総アクセス数で記載。

# 6 北海道科学技術振興計画に基づく基本的施策の概要（令和2年度）

○：道の予算事業、◆：道の予算を伴わない事業、●：国等の事業

## 1 研究開発の充実及び研究成果の移転等の促進 [予算額 15,265,104 千円]

※ 地域づくり総合交付金、農商工連携型地域中小企業応援ファンド  
貸付金、及び中小企業新応援ファンド貸付金を除く。

(1) 北海道の特性を活かした研究開発の推進	○	総合研究機構運営支援費（運営費交付金）	（	13,396,000	千円）	〔総合政策部〕
	○	地域づくり総合交付金（地域づくり推進事業・新産業創造事業）	（	4,280,000	千円の内数）	〔総合政策部〕
	○	科学技術振興事業費補助金（研究開発支援事業費補助金）	（	27,955	千円）	〔総合政策部〕
	○	研究開発推進事業費（宇宙産業育成事業費）	（		千円）	〔経済部〕
	○	宇宙産業成長産業化推進事業費（地方創生推進交付金）	（	14,719	千円）	〔経済部〕
	○	自動運転車開発拠点化促進事業（電源立地地域対策交付金）	（	10,000	千円）	〔経済部〕
	○	環境・エネルギー産業総合支援事業（開発支援事業）	（	30,395	千円）	〔経済部〕
	○	食関連産業省力化促進事業（地方創生推進交付金）	（	37,500	千円）	〔総合政策部〕
	○	循環型社会推進費（バイオマス利活用推進事業費）	（	601	千円）	〔環境生活部〕
	○	循環資源利用促進事業費（リサイクル技術研究開発補助事業）	（	31,962	千円）	〔環境生活部〕
	○	大気汚染対策費（有害大気汚染物質モニタリング調査）	（	957	千円）	〔環境生活部〕
	○	大気汚染対策費（指定物質排出施設規制指導）	（	628	千円）	〔環境生活部〕
	○	騒音・振動・悪臭対策費（航空機騒音環境監視）	（	21	千円）	〔環境生活部〕
	○	騒音・振動・悪臭対策費（新幹線騒音環境監視）	（	1,044	千円）	〔環境生活部〕
	○	騒音・振動・悪臭対策費（騒音・振動・悪臭対策）	（	26	千円）	〔環境生活部〕
	○	騒音・振動・悪臭対策費（自動車騒音常時監視体制）	（	1,701	千円）	〔環境生活部〕
	○	化学物質対策費（ダイオキシン類対策）	（	16,244	千円）	〔環境生活部〕
	○	公害対策受託調査費	（	7,719	千円）	〔環境生活部〕
○	水質汚濁対策費（河川・海域等類型指定調査）	（	2,137	千円）	〔環境生活部〕	
○	持続可能な農を支えるクリーン事業促進事業	（	5,237	千円）	〔農政部〕	
(2) 研究開発に関する拠点の形成	○	科学技術振興事業費補助金（研究開発支援事業費補助金）（再掲）	（		千円）	〔総合政策部〕
	○	研究開発推進事業費（リサーチ&ビジネスパーク整備推進事業費）	（	13,071	千円）	〔総合政策部〕
	○	研究開発推進事業費（フロンティア分野研究開発推進費）	（	1,455	千円）	〔経済部〕
	○	研究開発推進事業費（科学技術条例推進費）	（	2,271	千円）	〔総合政策部〕
	○	高度技術産業集積活性化事業費（工業技術センター事業費）（除・指定管理）	（	193,967	千円）	〔経済部〕
	○	食品産業振興対策費（地域食品加工技術センター運営事業費）（除・指定管理）	（	114,560	千円）	〔経済部〕
	○	自動運転車開発拠点化促進事業（電源立地地域対策交付金）（再掲）	（		千円）	〔経済部〕
(3) 研究成果の企業移転及び事業化・実用化の促進	○	総合研究機構運営支援費（運営費交付金）（再掲）	（		千円）	〔総合政策部〕
	○	先端技術の導入支援等による地域企業生産性向上事業費（地域活性化雇用創造プロジェクト事業費）	（	48,769	千円）	〔経済部〕
	○	研究開発推進事業費（地域ネットワーク戦略推進事業費）	（	1,746	千円）	〔総合政策部〕
	○	北海道技術・ビジネス交流会開催事業費負担金	（	720	千円）	〔総合政策部〕
	○	科学技術振興事業費補助金（研究開発支援事業費補助金）（再掲）	（		千円）	〔総合政策部〕
	○	研究開発推進事業費（リサーチ&ビジネスパーク整備推進事業費）（再掲）	（		千円）	〔総合政策部〕
	○	高度技術産業集積活性化事業費（工業技術センター事業費）（再掲）	（		千円）	〔経済部〕
	○	食品産業振興対策費（地域食品加工技術センター運営事業費）（再掲）	（		千円）	〔経済部〕
	○	食品産業エネルギー利用効率向上支援事業費	（	10,250	千円）	〔経済部〕
	○	中小企業競争力強化促進事業費	（	30,968	千円）	〔経済部〕
	○	北海道中小企業新応援ファンド貸付金	（		千円）	〔経済部〕
	○	ヘルスケア産業競争力強化推進事業（地域活性化雇用創造プロジェクト）	（	20,177	千円）	〔経済部〕
	○	市場動向対応型研究開発支援事業（地域活性化雇用創造プロジェクト）	（	13,558	千円）	〔総合政策部〕
	○	環境・エネルギー産業総合支援事業（販路拡大・普及促進事業等）	（	19,413	千円）	〔経済部〕
	○	ロシアビジネス活性化推進事業（地域活性化雇用創造プロジェクト）	（	17,965	千円）	〔経済部〕
	○	地域主体の新エネ導入支援事業	（	220,000	千円）	〔経済部〕
	○	エネルギー地産地消スタートアップ支援事業	（	5,500	千円）	〔経済部〕
	○	リサイクル産業振興対策費	（	15,325	千円）	〔経済部〕
	○	水素関連産業化促進事業費	（	31,694	千円）	〔経済部〕
	○	食関連産業省力化促進事業（再掲）	（		千円）	〔経済部〕
	○	省エネルギー・新エネルギー促進事業費（水素社会推進事業費）	（	2,511	千円）	〔環境生活部〕
	○	介護ロボット導入支援事業費	（	508,489	千円）	〔保健福祉部〕
	○	遠隔医療促進事業費	（	29,638	千円）	〔保健福祉部〕
	○	地域医療情報ネットワーク構築事業費	（	311,100	千円）	〔保健福祉部〕
	○	スマート農業総合推進事業費	（	49,172	千円）	〔農政部〕
	○	日本海ニシン栽培漁業定着事業費	（	8,893	千円）	〔水産林務部〕
○	藻場機能回復促進事業費	（	1,790	千円）	〔水産林務部〕	
○	エゾシカ森林被害防止強化対策事業費	（	7,256	千円）	〔水産林務部〕	

**2 道における研究開発等の推進** [予算額 **13,470,774** 千円]

○ 総合研究機構運営支援費（運営費交付金）（再掲）	（	13,396,000	千円）	〔総合政策部〕
○ 省エネルギー・新エネルギー促進事業費（原子力環境センター試験研究事業）	（	13,000	千円）	〔総務部〕
○ 文化振興事業費（北海道博物館試験研究費）	（	15,730	千円）	〔環境生活部〕
○ 文化振興事業費（北海道博物館事業費）	（	1,454	千円）	〔環境生活部〕
○ 衛生研究所試験研究費	（	21,953	千円）	〔保健福祉部〕
○ 持続可能な農を支えるクリーン事業促進事業（再掲）	（	5,237	千円）	〔農政部〕
○ 民間住宅等関連事業推進費（民間住宅施策に関する調査研究等業務）	（	14,100	千円）	〔建設部〕
○ 住宅・建築物耐震改修等事業費（耐震改修促進施策に関する調査研究業務）	（	3,300	千円）	〔建設部〕

**3 産学官金等の協働の推進** [予算額 **432,676** 千円]

○ 研究開発推進事業費（リサーチ&ビジネスパーク整備推進事業費）（再掲）	（	13,071	千円）	〔総合政策部〕
○ 研究開発推進事業費（地域ネットワーク戦略推進事業費）（再掲）	（	1,746	千円）	〔総合政策部〕
○ 科学技術振興事業費補助金（研究開発支援事業費補助金）（再掲）	（	27,955	千円）	〔総合政策部〕
○ 高度技術産業集積活性化事業費（工業技術センター事業費）（再掲）	（	193,967	千円）	〔経済部〕
○ 食品産業振興対策費（地域食品加工技術センター運営事業費）（再掲）	（	114,560	千円）	〔経済部〕
○ 中小企業競争力強化促進事業費（再掲）	（	30,968	千円）	〔経済部〕
○ 環境・エネルギー産業総合支援事業（開発支援事業）（再掲）	（	30,395	千円）	〔経済部〕
○ 環境・エネルギー産業総合支援事業（販路拡大・普及促進事業等）（再掲）	（	19,413	千円）	〔経済部〕
○ 循環型社会推進費（バイオマス活用推進事業費）（再掲）	（	601	千円）	〔環境生活部〕
◆ 産総研や全国公設試等からなる産業技術連携推進会議への参加	（		千円）	〔経済部〕

**4 知的財産の創造、保護及び活用** [予算額 **8,422** 千円]

○ 研究開発推進事業費（知的財産戦略推進費）	（	552	千円）	〔総合政策部〕
○ 研究開発推進事業費（知的所有権センター事業費）	（	7,500	千円）	〔総合政策部〕
○ 北海道発明協会連合会負担金	（	370	千円）	〔総合政策部〕

**5 科学技術を支える人材の育成・確保及び科学技術コミュニケーション活動の促進** [予算額 **113,972** 千円]

(1) 科学技術を支える人材の育成・確保	○ 研究開発推進事業費（科学技術ふれあい推進事業費）	（	1,050	千円）	〔総合政策部〕
	○ 次世代自動車関連ものづくり産業振興事業（電源立地地域対策交付金）	（	4,407	千円）	〔経済部〕
	○ 人材誘致促進事業	（	3,796	千円）	〔経済部〕
	○ 産業人材育成事業費（次世代人材職業体験推進事業費）	（	40,000	千円）	〔経済部〕
	◆ 次世代ものづくり人材育成事業	（		千円）	〔経済部〕
	○ 理科教育センター費（移動理科教室運営費）	（	3,241	千円）	〔教育庁〕
	○ 理科教育センター事業費（理科教育研修講座費）	（	5,176	千円）	〔教育庁〕
	○ 北海道ふるさと・みらい創生推進事業費	（	23,168	千円）	〔教育庁〕
	● 理科観察実験支援事業	（		千円）	〔教育庁〕
	○ スーパーサイエンスハイスクール	（	22,068	千円）	〔教育庁〕
	○ 北海道未来人材応援事業費	（	7,436	千円）	〔総合政策部〕
(2) 科学技術コミュニケーション活動の促進	○ 研究開発推進事業費（科学技術条例推進費）（再掲）	（	2,271	千円）	〔総合政策部〕
	○ 研究開発推進事業費（科学技術ふれあい推進事業費）（再掲）	（		千円）	〔総合政策部〕
	○ 北海道科学技術賞等	（	817	千円）	〔総合政策部〕
	○ 北海道中小企業新製品等開発賞表彰事業	（	42	千円）	〔経済部〕
	● 理科教育センター費（親と子の理科教室、中学生の科学実験教室）	（		千円）	〔教育庁〕
○ 青少年女性教育振興費（青少年科学技術振興事業費補助金）	（	500	千円）	〔教育庁〕	

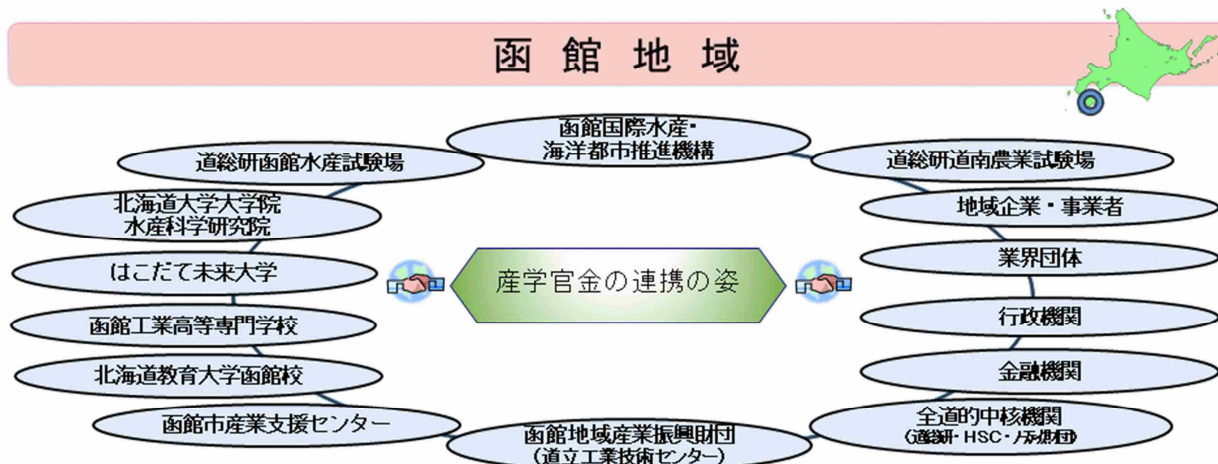
**6 科学技術の振興を図るための体制の整備** [予算額 **7,686** 千円]

○ 研究開発推進事業費（科学技術条例推進費）（再掲）	（	2,271	千円）	〔総合政策部〕
○ 研究開発推進事業費（地域ネットワーク戦略推進事業費）（再掲）	（	1,746	千円）	〔総合政策部〕
○ 研究開発推進事業費（知的財産戦略推進費）（再掲）	（	552	千円）	〔総合政策部〕
○ 北海道科学技術審議会	（	2,147	千円）	〔総合政策部〕
○ 北海道地方独立行政法人評価委員会開催経費（試験研究部会分）	（	970	千円）	〔総合政策部〕

**令和2年度予算額計 15,457,881 千円**

※ 地域づくり総合交付金を除く。  
 ※ 施策ごとの予算額には再掲事業を含むため、各施策の予算額の合計と予算額計は一致しない。

## V 道内6地域における取組状況



### 【これまでの主な取組】

- 函館国際水産・海洋都市構想(H15.3策定、H21.6改訂)による水産・海洋に関する学術研究機関の集積と連携
- ダルス等の未利用海藻等を活用した製品開発などマリンバイオクラスター形成に向けた取組
- 食品の付加価値向上や安全性などにおける共同研究等各種試験研究の実施
- 特区制度における金融支援や財政支援の活用
- サイエンス・サポート函館による「はこだて国際科学祭」、「はこだて科学寺子屋」、「はこだて科学網」の運営
- 「キャンパスコンソーシアム函館」による合同公開講座の開催など

更なる充実・強化

### 【今後の基本的な推進方向】

- 函館国際水産・海洋都市構想の推進
- 水産・海洋分野を中心とした研究開発の推進
- 地元産業への応用などAIに関する研究開発の推進
- 北海道フード・コンプレックス国際戦略総合特区の推進
- 研究成果の事業化・実用化の一貫した推進
- 産業ニーズや地域課題に対応した技術支援
- 関係機関の連携による科学技術理解増進の取組の推進
- 地域産業を支える担い手の育成・確保

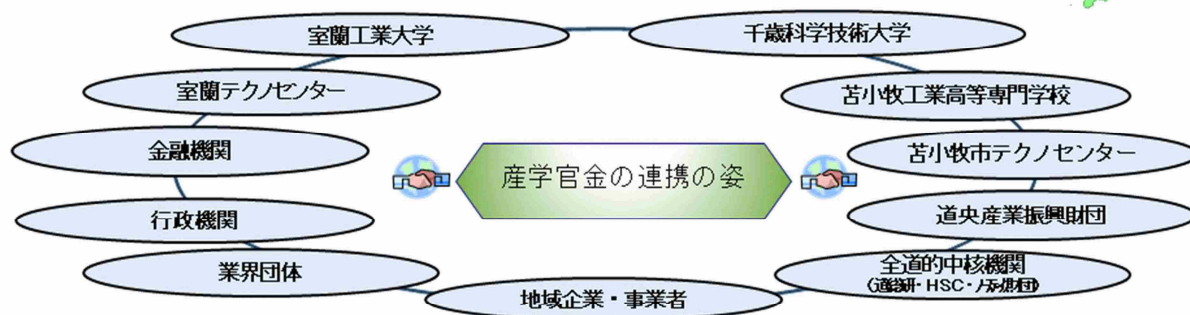
### 【取組方針の策定や推進体制づくり】

- 函館地域産業振興財団と北洋銀行函館中央支店との連携協定締結(H25)
- 函館高専と七飯町(H23)、函館市(H24)、知内町(H26)及び北斗市(H27)との連携協定締結
- 函館市国際水産・海洋総合研究センターの開設(H26)
- 函館市が経産省の「地方版IoT推進ラボ」地域に選定(H28)
- 地域未来投資促進法に基づく「はこだて知能ロボット開発・導入連携支援計画」の策定(H29)
- 「はこだて未来AIビジョン」の策定(H29)
- 公立はこだて未来大学と道立工業技術センターとの連携協定締結(R元)

### 【産学官金連携の主な取組】

- サイエンス・サポート函館による「はこだて国際科学祭」、「はこだて科学寺子屋」及び「はこだて科学網」の開催(H21～)
- 函館高専等による「カチオン化イカ墨色素を用いた高発色へアカラーリング剤の開発」(H29)
- 函館地域産業振興財団、北大及び民間企業による定置網漁獲物のシームレスなスーパーリング高鮮度流通体系の構築・実証と各種漁業への展開(H28～R元)
- 函館地域産業振興財団、北大及び民間企業等による「国内最大の水産系未利用資源であるホタテガイ内臓を原材料としたEPA・DHA含有ホタテオイルの開発」(H29～R元)
- 公立はこだて未来大学と道立工業技術センターによる「北海道AI・IoTオープンイノベーション・プラットフォーム構築事業」の推進(H30～)
- 北大、函館地域産業振興財団、民間企業による「ウニの実入り改善を実現する海藻等未利用バイオマス再資源化と利用技術の確立」(R元～R3)
- 公立はこだて未来大学と函館税関は、AIなどを活用した業務の効率化を目指し包括連携協定を締結(R2)
- 「函館市地域産業ロボット導入研究会発足」(R2)

## 室蘭・苫小牧地域



### 【これまでの主な取組】

- 「ものづくり創出支援事業」をはじめとした、地域の中小企業の設備導入や研究開発、人材育成を支援
- 室蘭工大、室蘭市などによる水素利用の技術開発
- 先進国型シュッリサイクル構築に係る研究開発、実証事業の実施
- 苫小牧沖でのCCS実証プロジェクトの実施
- 航空宇宙分野での民間企業や大学等との共同研究の実施
- 大学教員と企業との情報交換等の交流の実施
- 地(知)の拠点大学による地方創生推進事業「ものづくり人材」が拓く「まち・ひと・しごとづくり」の推進などによる地域に必要な人材の育成・確保

更なる充実・強化

### 【今後の基本的な推進方向】

- ものづくり分野での研究開発の推進
- 産業ニーズや地域課題に対応した技術支援
- 研究成果の事業化・実用化の一貫した推進
- 水素利用の促進など環境・エネルギー拠点の形成
- 航空宇宙に関する研究開発の推進
- 産学交流プラザ「創造」やものづくり企業活性化チーム「GKK」による産学官金連携の促進
- 地(知)の拠点大学による地方創生事業(COC+)の推進などによる地域産業を支える担い手の育成・確保

### 【取組方針の策定や推進体制づくり】

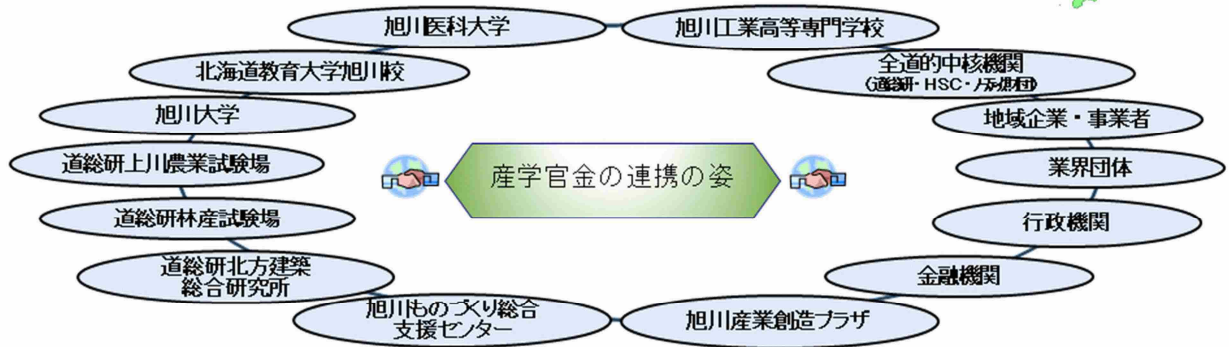
- 室工大、室テク、室蘭信金及び室蘭市による「ものづくり企業活性化チーム 学・官・金 室蘭」結成 (H25～R元)
- 道央産業振興財団、苫高専、苫小牧信金、北海道銀行、北洋銀行、苫小牧商工会議所 (H29より) 及び苫テク (苫小牧市) による「ものづくり企業活性化チーム 学・官・金-道央圏」結成 (H28)
- 室工大と道総研との包括連携協定締結 (H26)
- 室工大をはじめとした道内のものづくり系大学・高専などによる「『ものづくり・人材』が拓く『まち・ひと・しごとづくり』」が、国の「地(知)の拠点大学による地方創生推進事業(COC+)」に選定 (H27～R元)
- エネルギーの地産地消を進め低炭素先進都市を目指す「室蘭グリーンエネルギータウン構想」策定 (H27)
- 産学官が一体となった「苫小牧水素エネルギープロジェクト会議」の設立 (H28)
- 室工大と苫小牧市との包括連携協定締結 (R元)

### 【産学官金連携の主な取組】

- 室テクと苫テクにおける技術相談、技術指導等の実施
- 苫小牧地域産学官金連携実行委員会によるセミナー・シンポジウムの開催
- 室工大、室蘭市、民間企業等が共同事業者として、環境省委託事業「建物及び街区における水素利用普及を目指した低圧水素配送システム 実証事業」を実施 (H30～)
- 苫高専と苫小牧市、苫小牧商工会議所がそれぞれ、連携協定を締結し、高専サテライト「C-base」を開設し、技術経営相談等を実施
- 室工大航空宇宙機システム研究センターによる民間企業や大学等との共同研究の実施
- 室工大と大樹町のベンチャー企業によるロケット部品の共同研究の実施 (R元～)
- 室テクと東京海上日動火災保険北海道支店が「ものづくり企業のための室蘭地域新入社員合同研修」を共催 (H29～) ※包括的連携協定を締結 (R元)
- 室工大と大阪府立大学が共同開発した超小型衛星「ひろがり」について、国際宇宙ステーション (ISS) から宇宙空間への放出に成功 (R3.3)



# 旭川地域



## 【これまでの主な取組】

- 道総研上川農業試験場における水稻の新品種開発、林産試験場における優れた建材、北方建築総合研究所における快適な住まいなどに関する研究開発等の実施
- 旭川産業創造プラザにおける食品等ものづくり分野に関する研究開発や人材育成などへの助成
- 「橋渡し研究加速ネットワークプログラム」など道央地域と連携した医学研究の推進
- 旭川ウェルビーイング・コンソーシアムによる研究交流や人材育成事業の実施
- 関係機関共催による技術力向上や企業経営に関する講習会などの実施

更なる充実・強化

## 【今後の基本的な推進方向】

- 農林産品の高付加価値化や快適な住まいづくりなどに向けた研究開発の推進
- ものづくり分野での研究開発と研究成果の事業化・実用化の一貫した推進
- 産業ニーズや地域課題に対応した技術支援
- 道央地域と連携した医学研究等の推進
- 地域の高等教育機関と関係団体が連携した研究交流や人材育成の推進

## 【取組方針の策定や推進体制づくり】

- 一般社団法人旭川ウェルビーイング・コンソーシアム設立 (H24)
- 旭川信金と上川総合振興局との包括連携協定締結 (H25)
- 旭川市が旭医大、旭大、旭大短期大学部及び東海大北海道キャンパスと包括連携協定を締結 (H26)
- 旭川市が旭川信金と包括連携協定締結 (H27)
- 旭川産業創造プラザが日本政策金融公庫旭川支店と業務連携・協力の締結 (H30)

## 【産学官金連携の主な取組】

- 上川総合振興局の食クラスター「かみかわコーディネートチーム」による相談対応の実施
- 旭川ウェルビーイング・コンソーシアム「私の未来プロジェクト事業」の実施 (H27～)
- 北大、札医大及び旭医大による「オール北海道先進医学・医療拠点形成シンポジウム」の開催
- 産業支援機関や金融機関による商談会・成果発表会の開催
- 旭川食品産業支援センターによる食品加工に関する技術相談、商品開発支援、各種情報提供
- 旭川産業創造プラザ、旭川市工業技術センター及び民間企業によるシソを細かく刻む加工工程を自動化・省力化する加工機の開発 (H28)
- 旭医大及び民間企業による移植用臓器灌流保存装置の開発 (H29～)
- 旭川高専及び民間企業による ICT 型鳥獣駆除支援システムの開発 (H29)
- 旭川 ICT 協議会による「北海道ドローン選手権」大会の開催 (H30)
- 旭川産業創造プラザ及び民間企業によるロボット技術を活用した農作物の一次加工機械の開発
- 上川総合振興局、旭川市、圏域町、旭川信金等で構成する「旭川圏トライアルワーク推進協議会」による「旭川圏トライアルワーク連携支援事業」の実施